

昭和55年8月26日第三種郵便物認可 平成2年5月20日発行 (毎月1回20日発行)

ともえ



行動する
はつらつたる
商工会議所



旧函館郵便局(ユニオンスクエア明治館)

No. **108** 函館商工会議所報
1990 — 5月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lh(み)カードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。

あなたの預金で郷土を拓く。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

視	点	1
会議所の動き		2
地域の景気		6
調査レポート		8
寄稿文		12
共済推進コーナー		14
テイタイム		15
アドバイスコーナー		16
Q & A		18
ご案内		20

◇表紙

旧函館郵便局(ユニオンスクエア明治館) 明治五年(一八七二)、開拓使郵便局として開設、その後、明治二十年に函館郵便電信局と改称されて郵便業務が行われたが、明治四十年の大火で焼失。明治四十四年、当時は海浜と湿地であった豊川町に難航の末、新しく建設された。現在は新しい感性を取り入れたヤングのショップエリアとして観光の目玉になっている。

●視 点

ゴールデンウィークも終り、北海道で最も良い季節の風薫る五月を迎えました。

今年には桜の開花宣言が四月二十二日で、月末には例年より十日も早く満開となりましたが、これも地球温暖化による異常気象の故なのでしょう。

先日北海道新幹線建設促進期成会の総会が札幌で開催されました。当日決定された平成二年度の事業計画には、北海道新幹線は、わが国の均衡ある発展に大きな役割を果たすものであり、また青函トンネルの積極活用を図るためにも、道内における緊要の課題であると明記され、さらに今回の事業計画で始めて具体的に当面函館までの開業を目指すことが打出されました。会議終了後には、北大工学部の佐藤助教授より、青函トンネルの開業は北海道に何をもちたらしめたかというテーマで講話があり、その中で同助教授は青函トンネルは物流のみをみても、建設費の返済額を大きく上廻る経済効果を道内で生み出しており、現在輸送の隘路となっている江差線や津軽線などの単線区間は、こういう研究結果が事前に発表されておれば、当然そのまま使うという発想は生れなかったのではないかと、非常に残念なことであるとの論評がありました。

この北海道発展に大きな役割を担っている青函トンネルの有効活用のために、単線区間を早急に複線化し、一日も早く新幹線が通るように関係道県が力を合わせて、当面函館迄の建設を目標に最大の努力をつくっていきましょう。



会 議 所 の 動 き

本所部会・委員会開催

工業部会

文教・高度情報化委員会

地元企業に対する工業団地の建設計画及び関連する優遇措置について並びに函館高専の情報工学科の設置促進についてを議題に、本所工業（議員）部会が四月十八日開催されました。

当市はテクノポリス指定以来、地元企業の技術水準の向上を図るとともに企業誘致に努力してきました。誘致企業に対しては臨空工業団地や各種優遇措置等諸対策がなされていますが、地元企業が工場施設の新増設を行う場合の用地や優遇措置などに不備不満の点もみられるところから、市商工観光部の担当者からまず説明を受け、そのあと意見交換を行いました。その結果、現在市が検討している地元企業用団地の建設と優遇諸制度の見直し拡充について、その早期実現方を本所常議員会に諮ったうえ、会議所の意見として市に強く要請していくことになりました。

委員会開催

した。又、先端技術産業の誘致と既存企業の情報化の進展により情報技術者の需要が益々増加している現況から、道南における唯一の工学系高等教育機関として、機械・電気・工業化学・土木の四学科をもち、優れた技術者を輩出し高い評価を得ている国立函館工業高等専門学校が、新たに情報工学科の新設を計画、その実現のための支援協力が本所にありました。本所としても工業部会のほか、文教・高度情報化合同委員会を開催、その教育目標、カリキュラムの内容等について検討した結果、その実現をはかるべきであるとして近く開催の常議員会に諮り、同学科の設置について関係方面に要望活動を行うこととしました。

総務委員会

本所の財政事情について並びに産業会館の一部改築についてを調査検討するための総務委員会が五月十日開催されました。

先ず、本所の財政事情について事務局から、昭和四十八年に行われた会費一口五千元への改定以来今日迄、地域を代表する経済団体として商工業の振興発展のため、多くの課題に対応し諸施策を推進してきた。この間、物価の上昇もあり財政規模は拡大の途を辿ってきたが、これを支えるべき、会費収入が定額であることもあり、財政事情は年々厳しくなっている。

この要因としては、本所の収入の中で大きな比重を占める会費が昭和四十八年以降据置かれていることが大きく影響しており、この間、職員数の削減、会員増強運動そして事業収入の増などをもって対処し、何とか財政を支えてきたが、それともはや限界に達しているといえる状況にある旨の報告がなされ、種々協議した結果、今後財政基盤の確立については会費を含めた総合的な対策を早急に検討していくこととなりました。また産業会館の一部改築については、事務所及び書庫が手狭になつているため、あまり利用されていないホールを改築し有効に活用することです承されました。

自動車道・新幹線期成会が 総会を開催

去る四月二十四日札幌市で北海道開発幹線自動車道建設促進期成会の総会が開催され、本所から平野専務理事が出席しました。

会議は先ず平成元年度の事業報告並びに収支決算を承認した後、平成二年度の事業計画及び収支予算を審議し、それぞれ原案どおり決定しました。事業計画では、面積の広い本道にとって高速性と安全性を有する高規格幹線道路網の整備は極めて重要な課題であることを受章おめでとうございます

黄綬褒章受章



本商工会議所の川田寛会頭（日本化学飼料㈱社長）は、魚類未利用資源の有効利用技術開発の進歩発展に大きく貢献された功績により、この度黄綬褒章受章の栄誉を受けられました。

とから、これまでの縦貫自動車道の建設整備と同様、関係諸機関に対し強力に陳情することになりました。また、役員改選については懸案の課題に引続いて対処するため、役員全員の留任を満場一致で決めました。

なお、総会終了後、日本道路公団の小野誠一札幌建設局長の講演があり、今後完成する高速道は供用延長区間を更に伸ばすため、七十％が暫定二車線の規格で建設されるほか、現在全国で建設中の年間二百軒程度の高速道を、今後二十五％程度を目標に増やすよう努力するとともに、今まで全国平均より低かった道内への配分も増え

青森会議所との マル経審査委員交流会が実現

去る四月二十六日、青森商工会議所の小企業等経営改善資金（マル経資金）審査委員一行が当商工会議所を訪れ、当所審査委員との懇談会が開催されました。青森側

の見込みである旨の本道にとって明るい見通しのある発言もありました。

また、当日は引続き北海道新幹線建設促進期成会の総会が開催され、平成元年度の事業報告及び収支決算を夫々承認した後、平成二年度の事業計画及び収支予算を審議し、それぞれ原案どおり決定しました。事業計画では従来の早期実現に向けての陳情要望活動の方針には変りはないのですが、今年度はさらに一歩踏み込んで北海道新幹線建設の前提でもある東北新幹線完成時には、当面、函館までの同時開業を目指すことを明確に打ち出しております。

最後に北海道大学の佐藤馨一助教授の講演（要旨は視点到記載）があり、当日の全日程を終えました。

からは阿部委員長（前副会頭）をはじめ五名が、函館側からは北村委員長ら八名が出席しました。

懇談に先立ち、当所の平野専務理事から歓迎挨拶を含めて函館地

域の経済概況について説明があり、続いて、マル経資金の最近の推薦状況について業種別、資金使途別、新再別および審査委員会の開催状況について詳細にわたる説明がなされたあと質疑応答に入り、青森側からは、申込時の注意事項や道制度資金とマル経資金との兼ねあい、あるいは今後の審査委員会のあり方等について質問が相次ぎ、活発な意見交換がなされました。青函トンネル開通を契機として、両会議所がツイン協定を結び、青函インターブロック交流圏構想実現に取り組んでいる中で、役職員の交流が今後とも一層活性化することを先駆けともなった有意義な交流会でした。



ハリファックス市民訪問団との

経済懇談会開催

当市は昭和五十七年十二月、カナダのハリファックス市と国際姉妹都市として提携以来、文化や教育等を通じて相互の交流と理解を深めてきましたが、去る五月十二日から四日間の日程で、ロン・ウ

大変似ていることなどから、当日の懇談でも、当市経済の現状の説明の後、これら主要産業について

具体的な質疑がなされるなど、同様の業種について強い関心が示されました。最後に、今後より一層の経済交流促進のため、さらに調査研究を進めていくこととして懇談を終えました。

れ、二会場で七十九人が参加する中で、高橋真由美さん(苦小牧・美園小)が優勝しました。
◎小学生大会入賞者(函館会場分)
二位 大川佳奈子(七重小)
山形理恵(久根別小)
三位 加我芳子(鷲木小)
八木泰樹(昭和小)
竹村麻美(北日吉小)
砂田雅美(昭和小)
藤枝康子(日吉が丘小)
小川 誠(七重小)
藤原真弓(弥生小)

国民珠算競技大会道南予選開催

去る四月二十二日、第四十四回国民珠算競技大会道南地区予選が函館並びに苦小牧の二会場で同時に開催されました。

団体の部優勝 函館中部高校

また、同日は第二十二回全国小学生珠算競技大会も同時に開催さ

優良賞 藤枝康子(日吉が丘小)

の三企業を視察するとともに、当市経済界との懇談会が行われ、本所からも村瀬副会頭をはじめ、関係する部会長などが出席しました。

これは五月二十七日、大宮市で開かれる中央大会への代表を選出するためのもので、両会場合わせて七十三人の選手が技を競いました。各種目で熱戦が展開され、競技の結果栄誉ある「そろばん道南

一」の座は高橋大輔君(函館・ラサール高校)がかち取り、函館会場ではしばらく振りのこととなりました。

第21回 箱館五稜郭祭開催

箱館五稜郭祭協賛会(川田寛会長)主催による「第二十一回箱館五稜郭祭」は、五月十三日の碑前祭・記念式典を皮切りに、二十日まで八日間賑やかに繰り広げられました。この祭は箱館戦争の意義と特別史跡・五稜郭跡を広くPRし、史跡である資源の保存や整備、復元を推進する目的で毎年開催されています。まず十三日には、碑前祭に引続き、例年の前夜祭に代わる五稜郭祭記念式典や三年振りにミスター土方コンテストが実施され、また当市の姉妹都市カナダ・ハリファックス市の
バグパイプ演奏団が特別参加しました。また十九・二十日の本祭では、祭のメインイベントの維新パレードが街を練り歩き、行啓通りで始めて「閲兵式」をするなど函館の春を呼ぶ市民の祭が盛大に行われました。また、五稜郭跡を舞台に開催される第三回市民創作函館野外劇「五稜星よ永遠に」の公演は七月二十二日から八月十二日まで十回(毎週土・日曜日)新運営組織のもとで開催されます。市民の参加と協力により、当市の一大イベントに発展するよう期待されております。

ハリファックス市は大西洋に面したノバ・スコシア州で一番人口の多い州都として、カナダ大西洋岸で中心的役割をはたしている当市に似た環境にある港湾都市です。また、その周辺の海域は、世界三大漁場の一つとして、特にイカの漁獲が多く、主要産業も造船、石油精製、水産加工等であり当市に

◎国民大会予選入賞者(函館分)
一位 高橋大輔(ラサール高)
三位 日沼祐子(中部高)

石井智昌(〃)

事務局日誌

4 月



- *部 会
 - 18(火) 工業部会(議員部会)
- *正副会頭会議
 - 14(土) 第41回正副会頭会議
 - 28(土) 第42回正副会頭会議
- *会 議 (道商連)
 - 5(木) 第16回運営委員会
 - 13(金) 第14回政策委員会
 - 17(火) 正副会頭会議
- *審査会
 - 10(火) 小企業等経営改善資金の審査会
 - 26(木) " "
- *監 会 議
 - 2(月) 所報「ともえ」No.107(4月号)編集会議
 - 3(火) 函館市大型店舗出店対策協議会
 - 4(水) 函館港利用促進協議会理事会・総会
 - 6(金) 婦人会定時総会(講演会)・懇親会
 - " 函館港まつり一万人踊りパレード第2回検討委員会
 - " 箱館五稜郭祭募金委員会
 - " 函館都心商店街振興組合第18回近代化推進委員会
 - 9(月) 平成元年度経営改善普及事業補助金等に係る実績報告書の審査会
 - 16(月) 「感動市場」地域実行委員会の設立準備会
 - 17(火) 函館観光協会総務委員会
 - " みなみ北海道観光土産品公正取引協議会役員会
 - 19(木) 渡島地方技能尊重運動推進協議会理事会
 - " 釧路商工会議所「平成2年度全道モデル賃金担当者会議」
 - " " 「平成2年度春期全国モデル賃金調査担当者会議」
 - 20(金) 函館港利用促進協議会幹事会
 - 24(火) 函館観光協会平成2年度第1回理事会
 - " 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会平成2年度総会及び講演会
 - " 北海道新幹線建設促進期成会平成2年度総会及び特別講演会
 - 25(木) 北海道自衛隊退職者雇用協議会函館支部定期総会

- 25(木) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会幹事会
- " みなみ北海道観光土産品公正取引協議会総会
- " 函館中国経済促進協会平成2年度総会
- 26(木) 北海道中小企業団体中央会道南支部通常総会・懇親会
- " 函館・青森両商工会議所の経営改善資金審査員による交流会
- " 函館都心商店街振興組合第19回近代化推進委員会
- 27(金) 函館市自衛隊協力会平成2年度総会・防衛講話

*講習・催物

- 3(火) 箱館奉行所復元促進期成会第3回講演会
- " 複式簿記講習会
- 6(金) 特別講演会「ソ連・東欧地域の経済情勢と企業進出」
- " 複式簿記講習会
- 10(火) 複式簿記講習会
- 11(水) 経営相談
- 13(金) 複式簿記講習会
- 17(火) "
- 18(木) 平成2年度汚染負荷量賦課金納付申告説明会
- 20(金) 複式簿記講習会
- 24(火) "
- 27(金) 東邦生命保険相互会社太田清蔵社長来函記念講演会
- " 法律相談
- " 複式簿記講習会

*刊行物

20(金) 所報「ともえ」No.107(4月号)発行

*相談・診断

金融 101 税務 26 経理 14 経営 31
労働 142 取引 1 その他 1 計 316

*貸 室

本館 31 別館 1

*文 書

受信 284 発信 11

*慶弔・その他

- 3(火) 函館財務事務所長と景気動向に関する懇談
- 9(月) (財)全日本司厨士協会函館支部創立40周年記念祝賀会
- " 本所常議員西野鷹志殿ご尊父吉一殿ご逝去
- 10(火) 函館税務署「納税相談申告反省会」
- 11(水) 学校法人野又学園函館ソフトウェア専門学校入学式
- " " 開校祝賀会
- 15(日) 木戸浦隆一函館市長候補出陣式
- 18(木) 函館開陽丸青少年センター青少年研修施設「開陽丸」落成記念式典・祝賀会
- 22(日) 第44回国民珠算競技大会道南地区予選並びに第22回全国小学生珠算競技大会
- 26(木) 輪島幸雄道議会議員との懇談
- " 北海道旅客鉄道㈱「JR北海道函館自動車営業所」開設記念披露宴
- " 北海道東北開発公庫新札幌支店長表敬訪問(就任挨拶)
- 27(金) 東邦生命保険相互会社太田清蔵社長との昼食懇談会
- " " 函館支社「謝恩の夕べ」
- 28(土) 函館市水産加工業協同組合創立30周年記念式典・祝賀会

68年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談

7月18日 水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

(3)その他製造業

セメントは、国内建設需要の増嵩や対米輸出好伸からフル生産を続けており、段ボールも水産加工向けを中心に堅調な荷動き。また合板でも、輸入品の流入減等から市況が回復しはじめており、つれて出荷も漸次持ち直し。一方漁網では、受注環境の悪化から生産は鈍化傾向を辿っている。

(4)建設関連

民需は、新設住宅着工戸数が金利上昇前の駆け込み需要もあって前年を上回る（3月中の市内新設住宅着工戸数前年比+8.7%）など、総じて好調裡に推移、この間、公共事業についても、本予算成立を前に国庫債務負担行為に基づき前年を上回る発注が行なわれており、綱材等建設資材の荷動きも活発。こうした中、技能工等を中心に人手不足感が一段と強まっている。

(5)漁業

噴火湾ホタテ漁は、魚価回復等を映じ不漁の前年を大幅に上回る水揚を達成して終了。一方、近海マス漁は、4月下旬からの本格出船にもかかわらず魚群来遊の遅れから依然低調。

(6)消費関連

3月中の市内大型小売店（10か店）売り上げは、消費税実施前の駆け込みから高水準となった前年を下回った（前年比 $\Delta 6.0\%$ ）が、販売地合いは、春物衣料、身の回り品等が順調な売れ行きを示すなど堅調裡に推移。4月入り後も、衣料品、雑貨を中心に

好伸している模様。また耐久消費財では、家電販売が音響製品等の伸び悩みから盛り上がりを欠く展開となっている一方、3月の自動車販売は、既往ピークを更新する売り上げ台数を記録（管内新車販売台数4,613台、前年比+6.5%）。この間、観光・レジャー一面をみると、各観光施設とも好調な入込みをみているほか、ゴールデンウィーク期間中の市内ホテル・旅館の宿泊もほぼ満室の状況。

3. 金融事情（3月中）

- 実質預金は、月末休日に伴う高止まりに加え、個人預金が大口定期等自由金利預金の受入を主因に、また公金預金が交付金の受入等を背景にそれぞれ増加したため、月中356億円増と前年（161億円増）を大幅に上回った。一方貸出は、期末決済資金等増加運転資金が嵩んだほか、設備需資も底堅く推移（月中308億円増〈前年332億円増〉）。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、利上げ交渉の進捗を映じ月中+0.175%と大幅に上昇した。
- 銀行券は、進入学関係資金や郵便局の現金手当増加等を背景に月中55億円の払超となった（前年還収超0.5億円）。
- 財政収支は、官庁期末手当や郵便局の支払が増加したものの、資金運用部貸付の返済が嵩んだほか、租税、保険の受入れも引き続き増加したため、月中58億円の受超となった（前年同48億円）。

3 月

平成 2 年 5 月 2 日

地域の

景気

—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概 況

○最近の管内経済動向をみると、企業の売り上げ、生産が内需堅調等を背景に増勢を続け、雇用情勢も引き締まり傾向を強めるなど、管内景気は総じて好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では、漁網等の売り上げが鈍化しているが、水晶振動子、セメントに加え、一般機械でも内外需要の盛り上がりから増産態勢を敷いており、水産加工、乳製品、段ボールも高水準の生産を持続、また造船でも操業度を引き上げている。さらに半導体では、新製品を中心とする需要増加見通しから生産態度を幾分前傾化させはじめている。一方、非製造業では、建設が繁忙裡に推移しており、百貨店売り上げ、自動車販売も好地合いを続けているほか、本格的な行楽シーズン入りからホテル等観光関連も賑いをみている。

この間、企業の輸出成約は、海外現地需要の好伸や為替円安化に伴う輸出採算の改善もあって、米国、東南アジア向け等を中心に順調に推移している。

○3月中の金融動向をみると、預金が自由金利預金の受入等を中心に大幅に増加したほか、貸出も期末決済資金需要等を中心に堅調に推移。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は12か月連続して上昇した。

2. 主要業種別動向

(1)機 械

半導体では、年明け以降生産は増勢鈍化の動きを強めていたが、ここにくて新製品を中心とする先行き需要増加見通しから、生産態度を幾分前傾化させはじめており、4月には臨時工の採用にも着手。水晶振動子は、OA・通信機器向け需要好調から増産態勢を持続しており、一般機械でも、国内の人手不足を映じた合理化投資や東南アジアにおける製品国産化等の動きを背景に、総じて高水準の受注残を擁し増産姿勢を強めている。また造船でも、修繕船受注の好伸等から操業度を引き上げており、新造船の新規引き合いも強含みに推移している。

(2)食 料 品

水産加工では、行楽需要の盛り上がり等から順調な出荷を続けており、生産水準の引き上げに呼応する形でパート採用にも引き続き注力、また乳製品も飲用乳向け等を中心にますますの生産水準を維持。一方飼料・魚油では、このところ輸出採算の改善等を背景にスポット物の魚油輸出商談が散見されはじめている。

細業種でみると、設備工事業がやや厳しい見方をしているが、総合工事業と職別工事業は増額を見込んでいる。

【製造業】

今期比DI36.0、前年同期比DI12.0といずれもDIがプラスを示し、増産態勢が見込まれる。

細業種でみると、各業種とも横ばい又は増産を予想しており、特に水産加工業、飲食料品業、造船業では今期比、前年同期比ともにDIがプラスを示している。

【卸売業】

今期比DI35.6、前年同期比DI34.1といずれもDIがプラスを示し、伸び悩んだ今期の反動もあって、増額基調が予想される。

細業種でみると、一部を除いて総体的に回復が見込まれており、特に飲食料品業、燃料業、建築材料業では今期比、前年同期比ともにDIがプラスを示し、荷動き活発化が期待される。

【小売業】

今期比DI17.2、前年同期比DI18.2といずれもDIがプラスを示し、売り上げの伸びが期待される。

細業種でみると、自動車販売業は今期比、

前年同期比ともにDIがプラスを示し、引き続き好伸を見込んでおり、また今期伸び悩みの反動もみられる各種商品販売業と飲食料品販売業では、前期比でDIがプラスを示し増額を予想している。

【サービス業】

今期比DI39.1、前年同期比DI13.1といずれもDIがプラスを示し、特に今期比では「減少」と回答した企業はなかった。

細業種でみると、自動車整備業以外は業績好転が予想され、特にオフシーズンを好調に経過したホテル・旅館業と娯楽業では、今期比、前年同期比ともに「減少」と回答する企業もなく、観光シーズンを迎えて益々活発化が見込まれる。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とする企業10.0%に対し、「悪化」とする企業8.2%で、DIは1.8を示しているが、「変らない」とする企業が81.8%を占め、ほぼ今期並みに推移される見通しとなっている。

これを業種別にみると、建設業DI4.8、製造業DI△6.3、卸売業DI△4.6、小売業DI8.5、サービス業DI17.4を示しているが、各業種とも大半の企業が「変らない」としている。

大衆温泉浴場

日乃出湯

湯川植物園向い TEL 57-8692

業種別にみると、建設業（D I 13.6）とサービス業（D I 5.7）が好転基調だが、各業種とも70%以上の企業が「変わらない」と回答している。

5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、「求人難・人材難」をあげる企業が全業種で28.2%とトップを占め、次いで「売り上げ・受注の不振」が20.1%となっている。

次に問題点を業種別にみると、建設業では「求人難」・「景気の見通し難」がそれぞれ27.3%、次いで「資材の値上り」・「純利益の減少」がそれぞれ13.6%。

製造業では、「売上げ・受注の不振」24.0%、「求人難」22.0%、「景気の見通し難」16.0%、「人件費等経費の増加」12.0%。

卸売業では、「売上げ・受注の不振」31.2%、「人件費の増加」・「求人難・人材難」がそれぞれ13.3%、「純利益の減少」11.1%。

小売業では、「求人難・人材難」40.0%、「売上げの不振」17.0%、「人件費の増加」11.4%。

サービス業では、「求人難・人材難」54.6%、「同業者の競合」27.3%。

来期（4月～6月）の見通し

1. 業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業33.3%に対し、「横ばい」企業61.1%、「悪化」するとみる企業5.6%で、D Iは27.7とプラス、また前年同期比でも「好転」するとみる企業21.0%に対し、「悪化」するとみる企業が9.7%で、D Iは11.3とプラスを示し、好転が見込まれる。

業種別にみると、今期比では、建設業D I 22.8、製造業D I 34.6、卸売業D I 28.9、小売業D I 14.3、サービス業D I 34.8と、すべてD Iがプラスを示している。

また、前年同期比でもD Iがマイナスを示す業種はなく、総じて明るい見通しをたてている。

このように来期業況見通しは、業種間に大きな格差もみられず、引き続き好転基調が予想される。

図-5 来期の業況見通し（対前年同期比）

(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (11.3)	21.0	69.3	9.7
建設業 (0.0)	13.6	72.8	13.6
製造業 (17.3)	23.1	71.1	5.8
卸売業 (15.2)	26.1	63.0	10.9
小売業 (6.0)	21.2	63.6	15.2
サービス業 (8.7)	13.0	82.7	4.3

2. 売上額について

来期の売上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業38.5%に対し、「横ばい」企業54.0%、「減少」するとみる企業7.5%でD Iは31.0とプラスを示しており、前年同期比でも「増加」企業27.5%に対し、「横ばい」企業64.3%、「減少」企業8.2%で、D Iは19.3とプラスを示し、引き続き増額基調が見込まれる。

図-6 来期の売上げ見通し（対前年同期比）

(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (19.3)	27.5	64.3	8.2
建設業 (14.3)	23.8	66.7	9.5
製造業 (12.0)	20.0	72.0	8.0
卸売業 (34.1)	43.2	47.7	9.1
小売業 (18.2)	27.3	63.6	9.1
サービス業 (13.1)	17.4	78.3	4.3

次に来期の売上げ見通しを業種別にみると

【建設業】

今期比D I 23.8、前年同期比D I 14.3といずれもD Iがプラスを示し、増額基調が予想される。

細業種でも、総合工事、設備工事、職別工事の各業種とも、増額基調で推移した。

このように今期の建設業界は、公共事業の発注額が前年実績を上回り、住宅建築も活発で、好調を維持している。

【製造業】

今期の生産額は、前期比ではD I △24.0とマイナスだが、前年同期比ではD I 18.8とプラスを示し、増産態勢を敷いている。

細業種で見ると、前期比では総じて横ばい又は減額基調だが、前年同期比では水産加工業、窯業・土石製品業、金属・一般機械器具業を中心に高操業を維持し、増額基調で推移した。

【卸売業】

今期の売上額は、前期比D I △21.8、前年同期比D I △8.9と、いずれもD Iがマイナスを示している。

細業種で見ると、季節的要因もあり燃料業が上向いている以外は、総じて減額基調にあり、特に織物・衣服・身の回り品業、飲食品業、医薬品・化粧品業では前期比、前年同期比ともにD Iがマイナスを示している。

【小売業】

今期の売上額は、前期比D I △5.7、前年同期比D I △3.0と、いずれも若干マイナスを示し、昨年の消費税導入前の駆け込み需要の反動もありやや伸び悩んだ。

細業種で見ると、乗用自動車の好伸から引き続き好調な自動車販売業以外は伸び悩み、各種商品販売業、衣服・身の回り品販売業、飲食品販売業が減額基調で推移した。

【サービス業】

今期の売上額は、前期比D I 13.0、前年同期比D I 27.2と、いずれもD Iがプラスを示し、冬場を迎えたが引き続き増額基調で推移した。

細業種で見ると、自動車整備業がやや下向いているが、他はホテル・旅館業、クリーニング・理美容業、娯楽業とも上向いており、

特に観光関係ではオフシーズンから好実績を維持しており、本格的なシーズン入りが更に期待される。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種で見ると、前期に比べて「増加」している企業14.0%に対して、「横ばい」企業47.2%、「減少」している企業38.8%で、D Iは△24.8、また前年同期比でも「減少」企業30.3%が「増加」企業14.9%を上回ってD Iは△15.4、といずれもマイナスを示し、採算面では悪化基調で推移した。

業種別にみると、製造業の水産加工業、建設業の職別工事業、設備工事業、小売業の自動車販売業、サービス業の娯楽業が増益基調だが、他は総じて減益基調で推移した。

図-3 今期の純利益（対前年同期比）

(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (-15.4)	14.9	54.8	30.3
建設業 (-0.0)	18.2	63.6	18.2
製造業 (-8.0)	14.0	64.0	22.0
卸売業 (-37.0)	4.3	54.4	41.3
小売業 (-17.6)	20.6	41.2	38.2
サービス業 (0.0)	26.1	47.8	26.1

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種で見ると、前期に比べ「好転」した企業6.9%に対し、「悪化」した企業11.0%で、D Iは△4.1と若干マイナスを示しているが、「変わらない」とする企業が82.1%を占め、ほぼ前期比並みに推移した。

図-4 今期の資金繰り（対前期比）

(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (-4.1)	6.9	82.1	11.0
建設業 (13.6)	13.6	86.4	0.0
製造業 (-6.1)	4.1	85.7	0.2
卸売業 (-15.9)	2.3	79.5	18.2
小売業 (5.7)	14.3	77.1	8.6
サービス業 (-8.7)	4.3	82.7	13.0



(平成元年度第4四半期)

景気動向 調査

平成元年度第4・四半期（平成2年1月～3月）の函館地域における景気動向調査結果がまとまりましたので概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	250社	63.3%
建設業	50	33	66.0
製造業	100	63	63.0
卸売業	80	59	73.8
小売業	120	65	54.2
サービス業	45	30	66.7

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から、減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

今期（1月～3月）の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業20.3%に対し、「横ばい」企業48.1%、「悪化」している企業31.6%で、D Iは $\Delta 11.3$ とマイナスを示し、季節的要因によりやや悪化基調で推移した。

これを業種別にみると、建設業D I 18.2、サービス業D I 21.7とプラスだが、他は製造業D I $\Delta 34.6$ 、卸売業D I $\Delta 21.8$ 、小売業D I $\Delta 3.0$ とマイナスを示しており、業種間に格差がみられる。

また、今期の業況を前年同期比で見ると、全業種では「好転」企業26.5%に対し、「横ばい」企業55.9%、「悪化」企業17.6%で、D Iは8.9を示し、好転している。

これを業種別にみると、卸売業(D I $\Delta 13.6$)が低調ながら、他の業種はいずれもD Iがプラスを示し、好調に推移した。

このように今期の業況を前年同期比で見ると、個人消費面では昨年の消費税導入前の駆け込み需要の反動もありやや伸び悩んだが、生産活動は引き続き活発で、建設関係、観光関係も好調を維持する等、総じて好転基調で推移した。

図-1 今期の業況（対前年同期比）

	(D.1) 好転	横ばい	悪化
全業種 (8.9)	26.5	55.9	17.6
建設業 (23.8)	33.3	57.2	9.5
製造業 (18.4)	28.6	61.2	10.2
卸売業 (-13.6)	11.0	63.6	25.0
小売業 (3.0)	26.5	50.0	23.5
サービス業 (27.2)	45.4	36.4	18.2

2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業24.4%に対し、「横ばい」企業42.1%、「減少」している企業33.5%で、D Iは $\Delta 9.1$ とマイナスを示し、減額基調で推移した。

また、今期の売上額を前年同期比で見ると、全業種では「増加」企業30.0%に対し、「横ばい」企業48.2%、「減少」企業21.8%で、D Iは8.2とプラスを示し、前年実績を上回っている。

図-2 今期の売上額（対前年同期比）

	(D.1) 増加	横ばい	減少
全業種 (8.2)	30.0	48.2	21.8
建設業 (18.2)	27.3	63.6	9.1
製造業 (18.8)	29.2	60.4	10.4
卸売業 (-8.9)	24.4	42.3	33.3
小売業 (-3.0)	30.3	36.4	33.3
サービス業 (27.2)	45.4	36.4	18.2

次に売上額を業種別にみると

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比D I 22.7、前年同期比D I 18.2と、いずれもD Iがプラスを示している。



懐かしい匂いのするにぎやかさ

東京のありふれた街―練馬区北一商店街

―女性詩人からみた商店街①―

詩人 須永紀子

(1) 街の持つ猥雑士とアクを求めて

何とか銀座と呼ばれているような商店街を歩くのが休日の楽しみである。わたしが住んでいるのは新興の団地で、地元のお店街というのがない。それで、街の匂いをかぎに、電車やバスに乗ってよその街の商店街に出かけるのである。街の持つ猥雑さとかアクがわたしは好きなのだが、団地はクリーンすぎる。無臭なのだ。それがたまらなくなることがある。で、日曜日には知らない街へ行って商店街をできるだけその土地の者のように歩くことにしている。

たとえば、練馬区の北一商店街。東上線東武練馬の駅から、ファミリーロードという通りに続く旧川越街道の一部で、次の上板橋まで伸びている、ありふれた通りである。けれども昭和三十年代に子供時代を過ごしたわたしにとっては、当時を彷彿とさせる懐かしいところなのだ。どこが、と考えると、まずそれぞれの店の間口が広いことだと思える。家具屋も布団屋も呉

服屋も、都心なら三店舗は入るほど広い。品物は店先からあふ

れて広げられ、値札もわかりやすい大きな数字の手書きで、壮観である。どうしたって足が止まる。店先で勝負、という感じが伝わってくるようだ。正体がわからない、何を売っているかわからない店はない。〇〇米穀店、〇〇洋服店というふうには、律儀な看板が掛かっている。洒落た店はひとつもない。東京は渋谷区のはずれの一九五〇年代にタイム・スリップした気分になる。

(2) 個人商店の良さを再認識

金物屋は、「何でもあります」の看板のとおり何でも売っているみたいだ。湯たんぽ、スコップ、黒い長靴、熊手、はたき。奥にしまっている、というのではなく、品物が全部表に並べられている。わたしの住む町の商店街には、金物屋はない。スパーの一部にそれらしいコーナーがあるだけである。

卸売りの酒屋は、この通りのメインだろう。とにかく安く、

種類も豊富。威勢のいい若いお兄さんが呼び込みしていて、一年中大晦日みたいだ。業務用を買っていく人や、遠くからやって来る客もいるらしい。わたしもときどきリュックを持って買っていく。日本酒、ワイン、ウイスキー、どぶろくの瓶や紙パックが顔見せのように並んでいて、それはもう賑やかで見ているだけでうきうきしてくる。ふつうは置いていない酒も、ここなら予約すれば手に入る。それができるのは、東京では上野のある店とこの二軒だけと聞いたことがある。

はす向かいが魚屋。いつも水が撒かれ、市場に來たみたいだ。魚はもちろんだ皿にダイナミックのついている。タコもエビもマグロも濡れて光っていると新鮮に見え、店の人の歯切れのよい口調も気持ちがいい。わたしは昔魚が苦手で、魚屋の前は息を吸わないようにして通ったものだけれど、生きのいい魚は、生臭くない。今では、魚屋の店頭を覗くのは、楽しみの一つである。

お惣菜屋では、卵の花やかぼちゃの煮たのが皿にいっぱい盛られていて食欲をそそる。裏の台所で作ったばかりというふうである。鯛焼やこんにゃくの刺身が屋台のような店で売られていて、そのまま食べて歩いてもいい。ファーストフードの店はないけど、庶民の胃袋と直結した、実質的な店ばかりだ。

八百屋ではほうれん草などがきれいに積まれて段になり、根菜も葉も店からはみ出している。そして天井からはザルが吊り下げられているのだ。実に懐かしい風景である。以前は店の人と接するのがうっとおしくてたまらなかったが、三十を過

ぎてからは、ふつうの店で挨拶代わりに天気の話などをしながら買い物をするのもいいんじゃないかと思うようになった。

「きょうはこれがお買い得だよ」と言われれば「そう、じゃあそれちょうだい」も悪くない。スーパーだと、買って帰ったものが少し悪くなっていたりしても文句は言えない。言ったとしても「その日のうちに持ってきていただかないと」などと、かえって疑いの目を向けられてしまう。大手のスーパーになればもっと接客マニュアルが徹底しているから「当店ではそのようなものは置いていないはずですが」と言われるはめになる。小売店なら、「きのうのちよつと傷んでいたわよ」と気楽に言えるし、良心的な店なら「悪かったねえ。じゃきょうはおまけしとくから」ということになる。おいしいものを安く買いたいと思

っている主婦にとっては、個人商店のほうが絶対にありがたい。(3)記憶の中の三十年代そのもの

このあたりは戦災を免れたらしく、木造の古びた店が多い。セルロイドの花飾りが通りをわびしく飾っている。そして、店先ではお年寄りがちらほら立ち話をしていたりする。この風景は、わたしの記憶のなかの昭和三十年代そのものなのである。

【須永 紀子(すなが・のりこ)さんの略歴】

一九五六年東京生まれ。一九八三年詩集「シヨランターは金髪だった」、一九八八年詩集「サラーム」発行。

詩誌『雨期』主宰。